

2021年度第3四半期 決算概要

(2021年4月1日～2021年12月31日)

2022年2月3日

2021年度第3四半期 決算概要



	2021年度 第3四半期	前年同期比較		
		2020年度 第3四半期	増減額	増減率
	億円	億円	億円	%
売上収益	2,998	2,902	+ 97	+ 3.3
売上総利益	1,482	1,430	+ 52	+ 3.7
販管費等	1,411	1,182	+ 229	+ 19.3
内、研究開発費	702	503	+ 199	+ 39.6
コア営業利益	71	247	△ 176	△ 71.2
非経常項目*	34	△ 795	+ 828	-
営業利益*	105	△ 547	+ 652	-
四半期利益（親会社帰属）*	61	△ 453	+ 514	-
期中平均レート（米ドル）	111.45円	105.54円		

* 費用・損失の場合に△と表示

売上収益の内訳



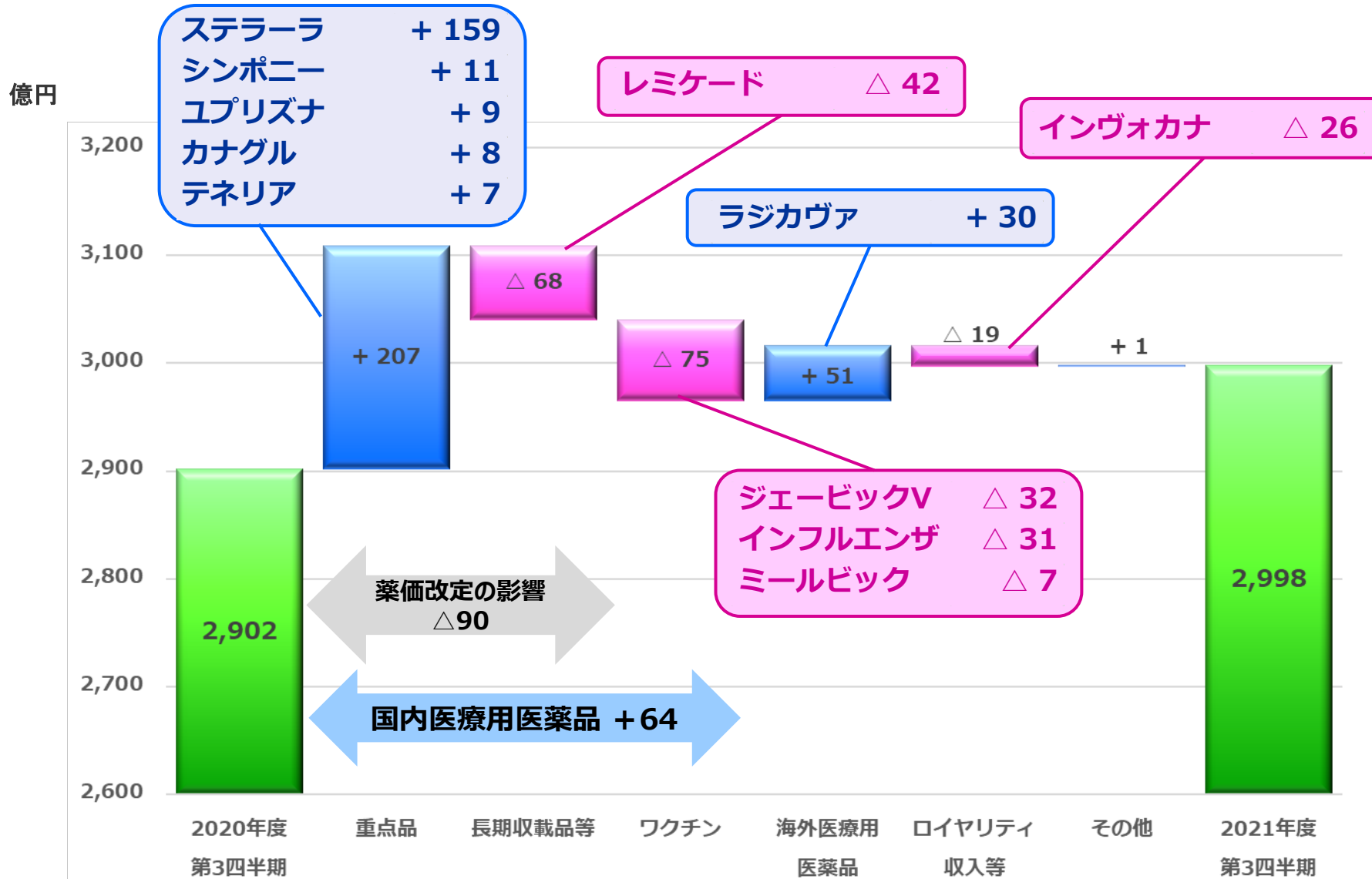
	2021年度 第3四半期	前年同期比較		
		2020年度 第3四半期	増減額	増減率
	億円	億円	億円	%
国内医療用医薬品	2,413	2,350	+ 64	+ 2.7
重点品	1,244	1,037	+ 207	+ 20.0
ワクチン	285	360	△ 75	△ 20.9
長期収載品等	885	953	△ 68	△ 7.2
レミケード	313	355	△ 42	△ 11.9
海外医療用医薬品	421	370	+ 51	+ 13.7
ラジカヴァ	189	159	+ 30	+ 18.7
ロイヤリティ収入等	105	124	△ 19	△ 15.3

重点品およびワクチン売上収益



	2021年度 第3四半期	前年同期比較		
		2020年度 第3四半期	増減額	増減率
	億円	億円	億円	%
ステラーラ	389	230	+ 159	+ 69.3
シンポニー	338	327	+ 11	+ 3.2
テネリア	125	118	+ 7	+ 5.9
カナグル	88	80	+ 8	+ 10.6
カナリア	78	75	+ 3	+ 4.1
バフセオ	7	3	+ 4	+ 113.4
レクサプロ	119	119	+ 0	+ 0.3
ユプリズナ	9	-	+ 9	-
ルパフィン	59	52	+ 7	+ 13.7
イムセラ	31	32	△ 2	△ 5.4
重点品合計	1,244	1,037	+ 207	+ 20.0
インフルエンザワクチン	107	138	△ 31	△ 22.6
テトラビック	78	82	△ 3	△ 4.2
ミールビック	43	51	△ 7	△ 14.5
水痘ワクチン	36	38	△ 2	△ 6.0
ジェービックV	12	43	△ 32	△ 73.2
ワクチン合計	285	360	△ 75	△ 20.9
重点品・ワクチン合計	1,529	1,397	+ 132	+ 9.5

売上収益の増減



研究開発の状況 等

開発進捗状況：中枢神経領域

① 中枢神経領域

治験コード	適応症 / 特徴	地域	開発段階	進捗状況（青字は今回の変更点）
MT-1186	ALS / 経口懸濁剤	グローバル*1	申請	<ul style="list-style-type: none"> 米国で承認申請が優先審査として受理（1月）
ND0612	パーキンソン病	グローバル	P3	<ul style="list-style-type: none"> グローバルP3試験を実施中
MT-3921	脊髄損傷	グローバル	P2	<ul style="list-style-type: none"> グローバルP2試験を実施中
MT-0551	重症筋無力症	日本*2	P3	<ul style="list-style-type: none"> グローバルP3試験を実施中

*1 米国を除く他の国の開発段階はP3

*2 ホライゾン・セラピューティクス社と共同開発

開発進捗状況：免疫炎症領域、ワクチン

② 免疫炎症領域

治験コード	適応症	地域	開発段階	進捗状況
MT-7117	赤芽球性プロトポルフィリン症(EPP) X連鎖性プロトポルフィリン症(XLP)	グローバル	P3	・ グローバルP3試験を実施中
MT-7117	全身性強皮症	グローバル	P2	・ グローバルP2試験を実施中
MT-5547	変形性関節症	日本	P2/3	・ P2/3試験終了
MT-0551	IgG4関連疾患	日本*1	P3	・ グローバルP3試験を実施中

③ ワクチン

治験コード	適応症 / 特徴	地域	開発段階	進捗状況（青字は今回の変更点）
MT-2766	新型コロナウイルス感染症予防 / 植物由来VLP*2ワクチン	グローバル*3	申請	<ul style="list-style-type: none"> ・ カナダで承認申請（12月）、2021年度内の実用化をめざす ・ 日本ではP1/2試験実施中
MT-2355	5種混合ワクチン*4	日本	P3	・ P3試験終了

*1 ホライゾン・セラピューティクス社と共同開発

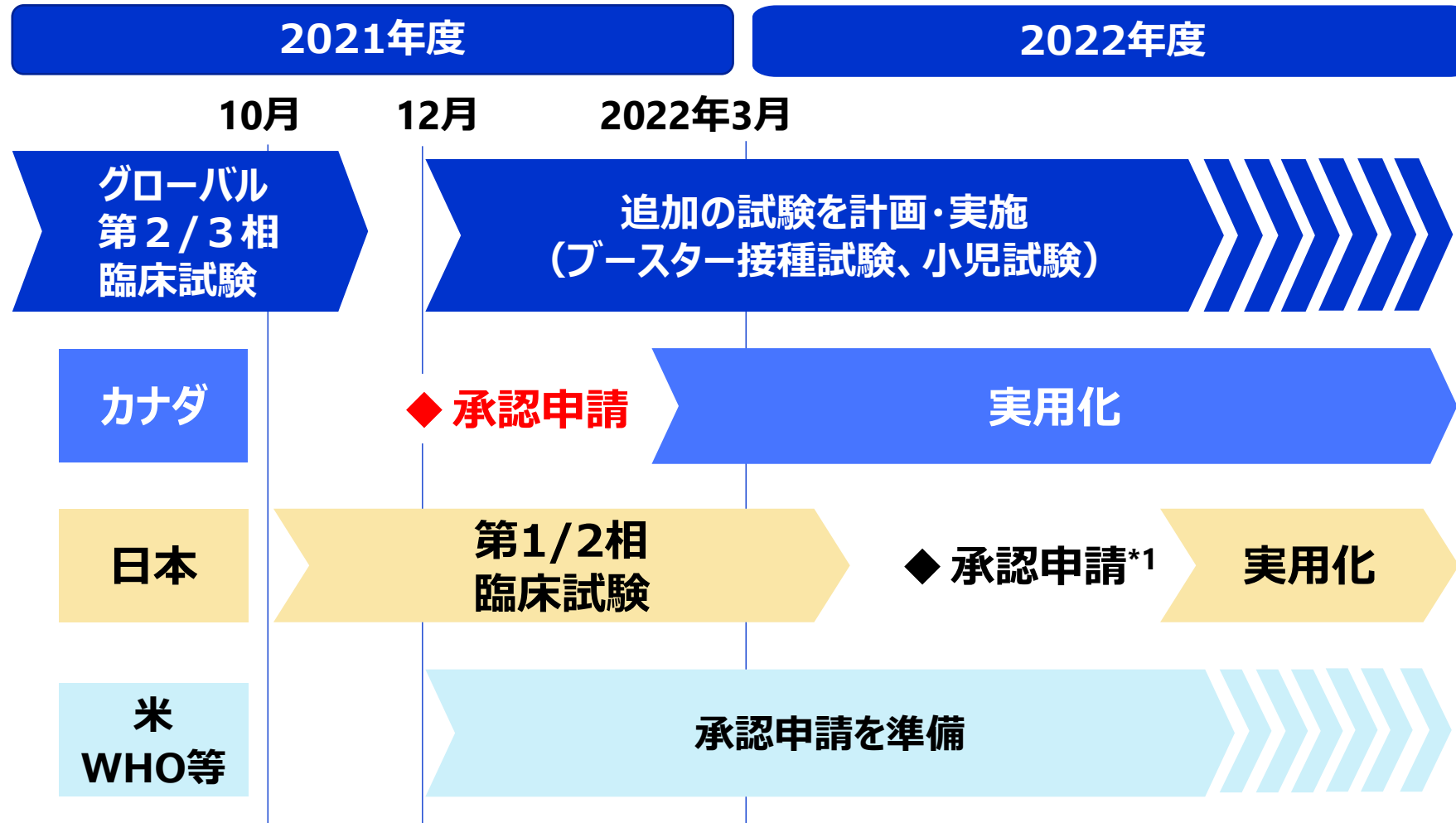
*2 VLP (Virus-Like Particle)：ウイルス様粒子

*3 カナダを除く他の国の開発段階はP3

*4 小児における百日せき、ジフテリア、破傷風、急性灰白髄炎およびHib感染の予防

MT-2766（新型コロナウイルス感染症予防 植物由来VLPワクチン）

■ 世界各国での開発状況



*1 グローバル試験データと日本の試験データをあわせて申請

MT-1186 (筋萎縮性側索硬化症 : ALS)

■ MT-1186 米国で承認申請受理 (1月)

- 米国食品医薬品局 (FDA) が承認申請を優先審査として受理
- ラジカヴァ (注射剤) と同一成分の経口懸濁剤で、注射による痛みや投与のための通院など、ALS患者さんの負担を軽減し、利便性を大幅に向上

■ ALS治療薬の米国ラインナップを拡充し、 新たな治療選択肢を提供

ALS治療の
リーディングカンパニーとして成長

2022年度 MT-1186 発売予定

**MT-1186 (ラジカヴァ経口懸濁剤)
FDA が承認申請受理**

2021年度 エクサヴァン 発売
(リルゾール経口フィルム製剤)

2017年度 ALS治療薬 ラジカヴァ 発売
(注射剤)

主な開発パイプライン 一覧

2022年1月25日現在

今回の進捗



領域	治験コード	開発地域	適応症 / 特徴	P1	P2	P3	申請	承認
中枢神経	MT-1186	グローバル ^{*1}	ALS / 経口懸濁剤					
	ND0612	グローバル	パーキンソン病					
	MT-3921	グローバル	脊髄損傷					
	MT-5199	日本	遅発性ジスキネジア					
	MT-0551	日本 ^{*2}	重症筋無力症					
	MT-8554	日本	末梢性神経障害性疼痛					
免疫炎症	MT-7117	グローバル	赤芽球性プロトポルフィリン症 (EPP) X連鎖性プロトポルフィリン症 (XLP)					
		グローバル	全身性强皮症					
	MT-2990	グローバル	子宮内膜症					
	MT-5547	日本	変形性関節症					
	MT-0551	日本 ^{*2}	IgG4関連疾患					
ワクチン	MT-2766	グローバル ^{*3}	新型コロナウイルス感染症の予防 / 植物由来VLP ^{*4} ワクチン					
	MT-2654	グローバル	季節性インフルエンザの予防・高齢者 / 植物由来VLP ^{*4} ワクチン					
	MT-2355	日本	5種混合ワクチン ^{*5}					
その他	TA-7284	日本	2型糖尿病を伴う慢性腎臓病					

*1 米国で承認申請（他の国の開発段階はP3）

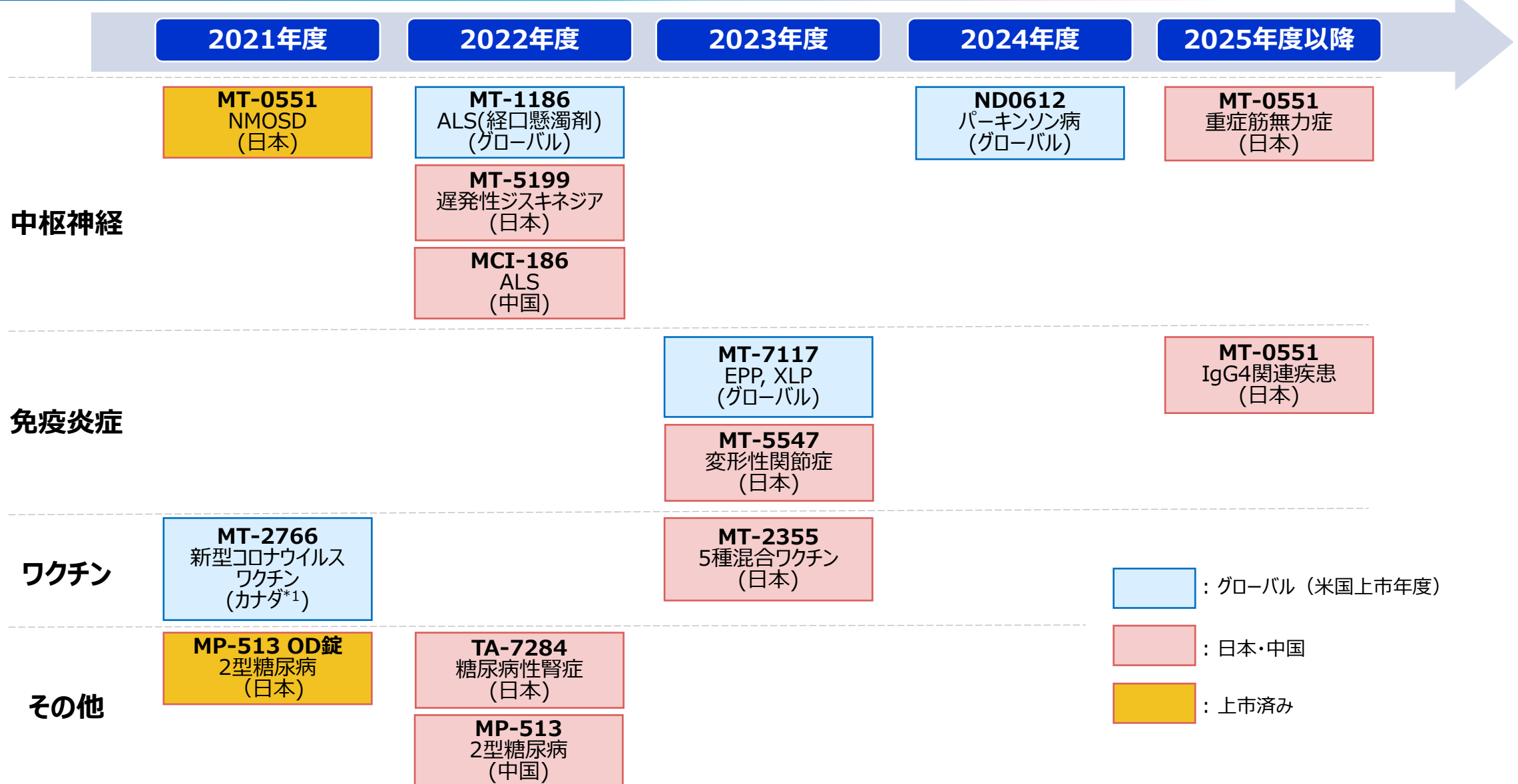
*2 ホライゾン・セラピューティクス社と共同開発

*3 カナダで承認申請（他の国の開発段階はP3）

*4 VLP (Virus-Like Particle) : ウィルス様粒子

*5 小児における百日せき、ジフテリア、破傷風、急性灰白髄炎およびHib感染の予防

主な開発パイプラインの上市計画



注意事項

本資料に記載した一切の記述内容は、現時点での入手可能な情報に基づき、一部主観的前提をおいて合理的に判断したものであり、将来の結果はさまざまな要素により大きく異なる可能性がありますので、ご了承ください。

医薬品（開発品を含む）に関する情報が含まれていますが、それらは宣伝・広告や医学的なアドバイスを目的とするものではありません。



病と向き合うすべての人に、
希望ある選択肢を。